

# 日本測地学会第108回講演会プログラム

期日：2007年11月7日（水）～2007年11月9日（金）

会場：ホテル浦島 日昇館コンベンションホール鳳凰（3階）

〒649-5334 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町勝浦1165-2

主催：日本測地学会

## 講演会予定表

日時	8:30	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
11月7日（水）			地球回転 GPS 地殻変動(1)  1～14		IAG 小委員会	ポスター （1）		地殻変動(2)  15～30				
11月8日（木）			地殻変動(3) 計測技術(1)  31～46		日本測地 学会評議 会	ポスター （2）	計測技術(2) 海洋測地 南極測地 惑星測地  47～57		国際測地 学・地球物 理学連合総 会報告		懇親会 (18:00～)	
11月9日（金）			重力 地球潮汐(1)  58～75				地球潮汐(2) 測地  76～84					

★ 発表時間は質疑を含め、各12分です。多くの講演がありますので時間厳守にご協力願います。

### ポスターセッション

(1) 11月7日(水) P1～P6 (コアタイム 13:00～13:30)

(2) 11月8日(木) P7～P12 (コアタイム 13:00～13:30)

※ポスターは会場内の展示となります。サイズは縦120cm、横180cm以内で作成してください。

### お知らせ

#### 那智勝浦町町民講演会：「東南海・南海地震予測研究の最前線」

日時：11月6日（火） 15時～18時

会場：那智勝浦町役場ホール

内容：

1. 「宇宙から見る大地の動き」  
京都大学防災研究所教授 橋本 学
2. 「海底で見る大地の動き」  
名古屋大学環境学研究科准教授 田所 敬一

参加費：無料

# 日本測地学会第108回講演会

11月7日(水)

9:00~12:00 I. 「地球回転・GPS・地殻変動(1)」

座長： 畑中雄樹 (国土地理院)  
向井厚志 (奈良産業大学)

1. GPS 単独測位の精度について part10 自転速度の変化の影響  
○青戸省二
  2. GPS 使用時の測位精度の安定性と信頼性の確保 (日本列島は振動しているか)  
エアスペースジャパン ○川俣健一
  3. FKP 方式による高精度移動体測位  
三菱電機 ○臼井澄夫、斉藤雅行
  4. An analysis of GPS data from a buoy during the event of September 5th, 2004 the Kii peninsula earthquake  
名大院環境 ○Mohd Effendi Daud、木股文昭、鷺谷 威、Irwan Meilano
  5. GPS 連続観測によるスマトラ-アンダマン地震の余効変動と3D-FEMを用いた粘性緩和の影響について  
京大防災研 ○片木武、橋本 学  
チュロンコン大理 橋爪道郎  
京大院理 Nithiwatthn CHOOSAKUL、竹本修三、福田洋一、藤森邦夫  
静岡大院理 里村幹夫  
JAMSTEC 伍 培明  
名大STE研 大塚雄一  
情通機構 瀧口博士、丸山 隆、斎藤 享  
東大地震研 加藤照之
  6. 2005年7月の東海地域の地殻変動について  
静岡大院理 ○濱 啓恵、里村幹夫  
東大地震研 加藤照之  
東海大海洋研 佐柳敬造  
防災科研 島田誠一
  7. RINEX version 3フォーマットのためのRINEX圧縮プログラムの拡張  
国土地理院 ○畑中雄樹
- 10:25~10:35 休憩
8. 対流圏遅延によるGPS測位誤差の数値シミュレーション- GEONETに関するケーススタディー  
国土地理院 ○宗包浩志、黒石裕樹、畑中雄樹、矢来博司

9. GEONETルーチン解析戦略第4版の構築に向けて  
国土地理院 ○畑中雄樹、宗包浩志、岩下知真子、湯通堂 亨、小谷京湖、石本正芳、川元智司
  10. GEONET におけるアンテナ絶対位相特性モデルの適用について  
国土地理院 ○豊福隆史、湯通堂亨、岩下知真子、畑中雄樹
  11. GPS 解析におけるアンテナ位相特性変更に伴うスケールエラーについて  
防災科研 ○島田誠一  
MIT T. A. Herring
  12. 水圧感度検定に基づくコアの弾性定数の決定による応力推定の改善  
奈良産大 ○向井厚志  
名大院環境 山内常生  
東濃地科研 石井 紘、浅井康広  
東大地震研 松本滋夫
  13. 断層近傍における歪の連続観測により何がわかるか-観測結果と解析結果の例-  
東濃地科研 ○石井 紘、浅井康広、青木治三
  14. 研究所地殻活動総合観測点(505m 深)の整備について  
東濃地科研 ○浅井康広、石井 紘、青木治三
- 12:00~13:00 昼 食  
12:00~13:00 IAG 小委員会  
13:00~13:30 ポスターセッション(1)  
13:30~17:15 II. 「地殻変動(2)」
- 座長： 小澤拓 (防災科研)  
西村卓也 (国土地理院)
15. 伊豆大島の次期噴火シナリオ作成において考慮すべきポイント  
国土地理院 ○村上 亮
  16. 急傾斜地の水準測量における大気屈折誤差の検討: 浅間山水準測量における結果  
名大院環境 ○木股文昭、石川溪太  
軽井沢測候所 松村智之
  17. PALSAR/InSAR により観測された小笠原硫黄島の火山活動活発化に関する地殻変動の時間推移  
防災科研 ○小澤 拓、上田英樹、鶴川元雄

18. ENVISAT データによる 2006 年 2 月 22 日モザンビーク地震の地震時及び余効変動  
京大防災研 ○橋本 学、福島 洋  
防災科研 小澤 拓
19. ALOS/PALSAR データによる 2007 年 3 月 6 日スマトラ島中部の地震に伴う地殻変動  
京大防災研 ○橋本 学
20. Magnitude5 の地震で一年以上続く余効滑り:チャマン断層(アフガニスタン)  
北大院自然 ○古屋正人  
インド地球物理学研究所 サチャバラ スリパチ
21. Preliminary Result of PALSAR data Processing for Takengon Area, Aceh Province, Indonesia  
名大院環境 ○Agustan、木股文昭、伊藤武男、  
Irwan Meilano
22. PALSAR 干渉解析による 2007 年アイセン地震(チリ)の発生時および発生前後の地殻変動  
京大防災研 ○福島 洋
- 15:45~15:55 休 憩
23. 平成 19 年(2007 年)新潟県中越沖地震に伴う地殻変動と震源断層モデル  
国土地理院 ○飛田幹男、西村卓也、小沢慎三郎、  
水藤 尚、国土地理院中越沖地震地  
殻変動解析グループ
24. 稠密 GPS 観測網による 2007 年中越沖地震の余効変動観測 その1 -GPS 臨時観測の概要-  
東北大院理 ○太田雄策、三浦 哲、立花憲司、飯  
沼卓史、宮尾佳世  
九大院理 松島 健、平尾暁彦  
北大院理 高橋浩晃、前田宜浩、山口照寛、  
高田真秀  
東大地震研 宮崎真一、岩國真紀子、落 唯史  
名大院環境 鷺谷 威、伊藤武男、イルワン メイ  
ラノ  
富山大理 道家涼介、竹内 章
25. 稠密 GPS 観測網による 2007 年中越沖地震の余効変動観測 その2 余効変動の時空間変化推定  
東北大院理 ○飯沼卓史、太田雄策、三浦 哲、  
立花憲司、長谷川 昭、宮尾佳世  
九大院理 松島 健、平尾暁彦  
北大院理 高橋浩晃、前田宜浩、山口照寛、  
高田真秀  
東大地震研 宮崎真一、岩國真紀子、落 唯史  
名大院環境 鷺谷 威、伊藤武男、イルワン メイ  
ラノ  
富山大理 道家涼介、竹内 章
26. GEONET データで見る中越地震および中越沖地震前後の歪速度変化  
京大防災研 ○大谷文夫
27. 稠密 GPS 連続観測による 2007 年能登半島地震の余効変動  
京大防災研 ○橋本 学、尾上謙介、細 善信、  
福島 洋、大谷文夫、中村佳重郎  
北大院理 高橋浩晃、笠原 稔、本多 亮、  
一柳昌義、山口照寛、前田宜浩  
富山大理 道家涼介、柳井啓広、竹内 章  
金沢大 平松良浩
28. 錦江湾周辺における GPS 連続観測による地殻変動  
鹿児島大理 ○中尾 茂  
鹿児島観測所 後藤和彦、八木原 寛、平野舟一郎  
国立天文台 田村良明  
日豊 田中 穰
29. 1945 年三河地震(M=6.8)に伴う地殻変動と震源断層モデル  
国土地理院 ○高野和友
30. 1973 年根室半島沖地震に伴う地殻変動の再検討とプレート間相互作用の推定  
国土地理院 ○西村卓也

11月8日(木)

8:30~12:00 III. 「地殻変動(3)・計測技術(1)」

座長： 中尾 茂 (鹿児島大理)  
渡部 豪 (名大院環境)

31. 3次元 GPS 速度場を用いた南海トラフのすべり欠損分布の推定  
高知大院理 ○一谷祥瑞  
高知大理 田部井隆雄
32. 海底地殻変動観測に基づく南海トラフのプレート間カップリング推定  
名大院環境 ○渡部 豪、田所敬一、杉本慎吾、奥田 隆、武藤大介、木元章典  
三重県科技振興センター 久野雅博
33. GPS データによる西南日本のプレート間カップリングとブロック回転運動の同時推定  
東北大院理 ○宮尾佳世、三浦 哲、太田雄策、長谷川 昭  
鹿児島大理 中尾 茂  
GNS, ニュージーランド Laura Wallace
34. 宿毛における連続歪記録から推定される、1991 年豊後水道付近でのスロースリップイベントの可能性  
京大防災研 ○寺石眞弘、大谷文夫、園田保美
35. 2007 年8月房総半島沖のスロースリップ  
国土地理院 ○水藤 尚、小沢慎三郎、飛田幹男
36. 西表島で半年毎に発生するゆっくり地震  
北大理自然 ○片岡 健、日置幸介
37. スロースリップは単純に繰り返すのか？  
建設情報センター ○海津 優
38. 地殻活動観測に向けた操作の平易なデータベース・ビューワの開発  
マコメ研究所 ○植村徹哉  
東濃地科研 石井 紘、大久保慎人、浅井康広、青木治三
- 10:30~10:45 休 憩
39. ミニチュアモデルで再現する各種地殻変動パターン — (その2) 変動源の推定への活用 —  
防災科研 ○山本英二、上田英樹
40. Sumatra Tide-Gauge Data Analysis for Crustal Movement  
京大院理 ○Sorja Koesuma、福田洋一  
インドネシア測量地図局 Parluhutan Manurung

41. Preseismic transient and postseismic afterslip associated with the 2004 Sumatra earthquake  
名大院環境 ○Meilan Irwan、木股文昭、伊藤武男  
M. Effendi Daud、Agustan  
高知大理 田部井隆雄  
ハートン工科大 Hasanuddin Z. Abidin  
シヤクアラ大 Didik Sugiyanto
42. 神岡レーザー伸縮計によるスリヒターモードの探索  
京大院理 ○早河秀章  
東大地震研 新谷昌人、高森昭光  
京大防災研 森井 互  
東大宇宙線研 大橋正健  
京都大学 竹本修三
43. 神岡レーザー伸縮計で観測されたスマトラ地震による地球自由振動(2)  
京大院理 ○由井智志、竹本修三、福田洋一、東 敏博、早河秀章  
東大地震研 新谷昌人、高森昭光  
京大防災研 森井 互  
東大宇宙線研 大橋正健
44. 周波数領域におけるひずみ解析法によるスリヒター・モードの検出  
東濃地科研 ○大久保慎人
45. 地震動から永年変動までの地殻変動連続観測データベース  
北大理院 ○山口照寛、笠原 稔
46. 小型絶対重力計の開発  
東大地震研 ○新谷昌人  
国立天文台 田村良明  
真英計測 坪川恒也
- 12:00~13:00 昼 食  
12:00~13:00 日本測地学会評議会  
13:00~13:30 ポスターセッション(2)  
13:30~15:45 IV. 「計測技術(2)・海洋測地・南極測地・惑星測地」
- 座長： 大坪俊通 (一橋大院社)  
関戸 衛 (情報通信研究機構)
47. 広域電波強度分布測定技術の研究開発  
情通機構 ○小山泰弘、近藤哲朗、市川隆一、関戸 衛、川合栄治
48. スペース VLBI 衛星 ASTRO-G 精密軌道決定のための計測手段と予備評価  
一橋大院社 ○大坪俊通  
情通機構 久保岡俊宏

JAXA 中村信一、竹内 央、朝木義晴、  
吉川 真、村田泰宏、齋藤宏文

15:55~17:10 国際会議報告

49. e-VLBI による日欧迅速 UT1 計測実験  
情通機構 ○関戸 衛、小山泰弘、瀧口博士、  
近藤哲朗、市川隆一、原井洋明  
国土地理院 栗原 忍、小門研亮  
オンサ宇宙観測所 Rüdiger Haas  
メツアホビ電波観測所 Jouko Ritakari, Ari P. Mujunen

50. 波線追跡計算ツール KARAT を用いた測位誤差シミュレーション その2  
情通機構 ○市川隆一、Thomas Hobiger, 瀧口  
博士、小山 泰弘、近藤 哲朗

51. 海底地殻変動観測の最近の成果と観測の効率化  
海洋情報部 ○佐藤まりこ、松本良浩、齋藤宏彰、  
浅倉宜矢、石川直史、藤田雅之、  
矢吹哲一朗  
東大生産研 望月将志、浅田 昭

52. 海中の温度・圧力連続計測データを用いた海底測位手法の開発  
名大院環境 ○杉本慎吾、田所敬一、渡部 豪、  
奥田 隆、武藤大介、木元章典  
東海大海洋 佐柳敬造、長尾年恭  
東大地震研 生田領野

53. 海底地殻変動観測における傾斜を含む音速場の推定と観測精度について  
東北大院理 ○木戸元之、長田幸仁、藤本博巳

54. リアルタイム観測に向けた海底間音響測距装置の開発  
東北大院理 ○長田幸仁、木戸元之、藤本博巳

55. ALOS/PALSAR データを用いた氷床表面高度の推定  
極地研 ○土井浩一郎、渋谷和雄、青山雄一  
RESTEC 山之口 勤  
高知女子大学 大村 誠

56. GRACE・ICESat データによる南極氷床変動の研究  
京大院理 ○山本圭香、福田洋一  
極地研 土井浩一郎

57. 火星の測地学二題:リソスフェア厚と真の極運動に伴う地殻変動  
北大理・自然 ○日置幸介  
北大理・地球 松尾功二、菅原 守

「第 23 回国際測地学・地球物理学連合総会」  
概要 大久保修平(東大地震研)  
GS001(基準系) 島田誠一(防災科研)  
GS002(重力) 福田洋一(京大院理)  
GS003(地球回転・地球力学)  
田村良明(国立天文台)  
GS004(ポジショニングと応用)  
宗包浩志(国土地理院)  
GS005(GGOS) 古屋正人(北大院自然)  
JGS03(地震・火山測地)  
鷲谷 威(名大院環境)

15:45~15:55 休憩

11月9日(金)

8:30~12:10 V. 「重力・地球潮汐(1)」

座長： 東 敏博(京大院理)  
三浦 哲(東北大院理)

58. GRACE 重力データにみられる El Niño と La Niña の信号

北大理・自然 ○日置幸介  
北大理・地球 森下 遊

59. GRACE による経年的な陸水変動の解析

京大院理 ○長谷川 崇、福田洋一、山本圭香

60. 衛星重力ミッション GRACE データに応用できる球形地球 Dislocation 理論

東大地震研 ○孫 文科、付 広裕、大久保修平

61. 重力衛星 GRACE 観測からの日本周辺の重力場復元とそのジオイド決定への応用

国土地理院 ○黒石裕樹  
ゴダード宇宙飛行センター

Frank G. R. Lemoine、David D. Rowlands

62. EGM96 ジオイドモデルを使用した国内標高値決定の精度評価

パスコ ○塚原弘一  
日豊 藤井陽一郎、田中 穰  
アイソテクノロジー 中根勝見  
国際航業 大石 哲  
三菱電機 北瀧 悟

63. マーシャル諸島マジロ環礁における GPS 測量とジオイド

玉野総合コンサル ○大西俊次、今枝良平、佐野滋樹、伊藤和弘  
国立環境研 山野博哉  
東大院理 茅根 創

64. 新しい日本重力基準網の構築

国土地理院 ○本田昌樹、檜山洋平、越智久巳一、石原 操

65. 地下水流動に伴う重力変化の水文学的考察

東大地震研 ○風間卓仁、大久保修平

10:00~10:10 休憩

66. 神岡における繰り返し絶対重力測定

京大院理 ○東 敏博、福田洋一、早河秀章、由井智志、竹村 啓、竹本修三  
国立天文台 佐藤忠弘、田村良明  
東大宇宙線研 大橋正健、内山 隆

67. 犬山における CG3 と SG の並行観測

産総研 ○名和一成、杉原光彦  
名大院環境 山田功夫、奥田 隆  
東濃地科研 田中俊行

68. 傾斜計データを使った超伝導重力計データの傾斜補正

京大院理 ○竹村 啓、福田洋一、東 敏博

69. 相対重力計で捉えた2007年能登半島地震に伴う重力変化

北大理 ○本多 亮、山口照寛、笠原 稔  
金沢大 河野芳輝  
金沢大自然 澤田明宏

70. 草加地域の精密重力調査

産総研 ○駒澤正夫、佐藤秀幸

71. 台湾・新竹周辺の重力調査

産総研 ○駒澤正夫  
東工大 盛川 仁、高橋千佳、正坂拓也  
台湾中央大 Huei-Tsyr CHEN

72. 重力探査によるジャカルタの地下構造

京大院理 ○上野悟志、福田洋一  
九大院工 西島潤

73. アラスカ州南東部における氷河後退に伴う高速地殻隆起の総合測地観測—長期的重力変化—

東北大院理 ○三浦 哲、佐藤忠弘、藤本博己  
東大地震研 孫 文科、菅野貴之  
アラスカ大フェアバンクス校

Max Kaufman、Jeff Freymueller

74. 南東アラスカ・ジュノーにおける重力と GPS による潮汐観測結果

東北大院理 ○佐藤忠弘、三浦 哲、太田雄策、藤本博己  
東大地震研 孫 文科  
アラスカ大フェアバンクス校

C. Larsen、M. Kaufman、J. T. Freymueller

アラスカ大南東校 M. Heavner

75. アラスカ州南東部における氷河後退に伴う高速地殻隆起の総合測地観測—海洋潮汐・領域モデルの改良—

統数研 ○稲津大祐、中村和幸、樋口知之  
東北大院理 佐藤忠弘、三浦哲、藤本博己  
アラスカ大 Christopher F. Larsen

12:10~13:00 昼食

13:00~15:00 VI. 「地球潮汐(2)・測地」

座長： 辻 宏道(東大地震研)

76. キネマティック GPS による固体地球潮汐応答の時間変化  
名大院環境 ○山本淳平、伊藤武男
77. VERA局における重力潮汐観測(その2)  
国立天文台 ○田村良明  
東北大院理 佐藤忠弘
78. VERA 測地 VLBI 観測の現状報告-VLBI と GPS の解の比較について  
国立天文台 ○寺家孝明、田村良明、真鍋盛二、国立天文台 VERA グループ
79. レーザー励起 Cs ガスセル型原子発振器による測地 VLBI 実験  
情通機構/地理院/エイイーエス ○石井敦利  
情通機構 市川隆一、瀧口博士、久保木裕充、関戸衛、小山泰弘  
アンリツ 大内裕司
80. 測地VLBI技術による高精度時刻比較 - 第二報 -  
情通機構 ○瀧口博士、小山泰弘、市川隆一、後藤忠広、Thomas Hobiger  
情通機構/地理院/エイイーエス 石井敦利
81. 22GHz 帯測地 e-VLBI の開発  
岐阜大工 ○高羽 浩、若松謙一、須藤広志  
国立天文台 川口則幸、河野祐介、小山友明  
国土地理院 町田守人  
情通機構 近藤哲朗、小山泰弘、関戸 衛  
JAXA 竹内 央  
北大理・自然 日置幸介
82. 「ラジオス」SLR データによる下里の移動速度の再計算  
海洋情報部 ○佐藤まりこ、浅倉宜矢、松下 優、藤田雅之
83. ALOS/PALSAR を利用した定常解析と緊急解析について  
国土地理院 ○鈴木 啓、雨貝知美、藤原みどり、和田弘人、飛田幹男、矢来博司
84. 地震報道にみる地震学・測地学のアウトリーチの課題-2007 年新潟県中越沖地震を例にして-  
東大地震研 ○辻 宏道

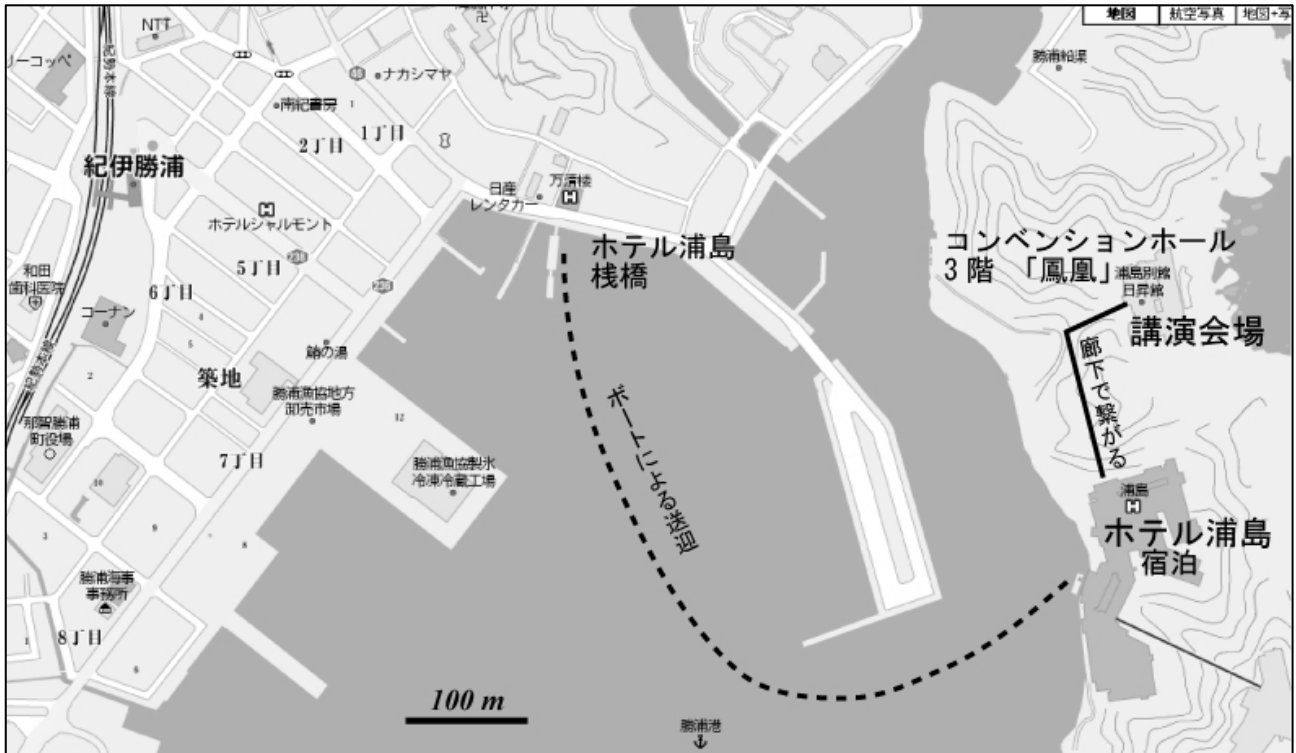
#### ポスターセッション

11月7日(水) P-1~6 (コアタイム 13:00~13:30)

11月8日(木) P-7~12 (コアタイム 13:00~13:30)

- P-1. 統合質量分布に基づく地球回転モデル  
国土地理院 ○眞崎良光
- P-2. 超高速データ転送による地球姿勢計測への取り組み  
国土地理院/エイイーエス ○谷本大輔  
国土地理院 小門研亮、栗原 忍、町田守人  
情通機構 関戸 衛、小山泰弘
- P-3. 波線追跡法による大気遅延量推定値の GEONET 基線解析への適用  
情通機構 ○ホビガー トーマス、市川隆一、小山泰弘、近藤哲朗  
国土地理院 畑中雄樹、湯通堂亨、岩下知真子、宮原伐折羅
- P-4. 深部低周波微動に同期した横坑式地殻変動連続観測記録の検証  
名大院環境 ○仮屋新一、伊藤武男、山内常生、奥田 隆、木股文昭
- P-5. Co-seismic displacements of the 2004 Sumatra earthquake (Mw = 9.3) were detected by a dense GPS observation network in China  
東大地震研 ○付 広裕、孫 文科
- P-6. ALOS/PALSAR の干渉解析で捉えられた 2007 年サハラ南部の地震に伴う地殻変動  
国土地理院 ○矢来博司、鈴木 啓、飛田幹男
- P-7. 非等方輻射圧(仙石)モデルと軌道解析ソフトウェア concerto v4 を用いたあじさいの軌道決定  
情通機構 ○久保岡俊宏、後藤忠広  
一橋大院社 大坪俊通
- P-8. VLBI サンプラーユニット K5/VSSP32 の現状  
情通機構 ○近藤哲朗、小山泰弘、市川隆一  
日通機 大久保 寛
- P-9. 火星における表層質量荷重による真の極移動: 極潮汐を媒介とする惑星回転と惑星変形の相互作用  
東大地震研 ○原田雄司
- P-10. 名大犬山観測所で発生した FG5 内蔵 Rb 時計の周波数変動  
東濃地科研 ○田中俊行、宮島力雄  
名大院環境 山田功夫  
産総研 名和一成
- P-11. 島根半島の重力異常  
中部大 ○志知龍一、工藤 健  
愛媛大 山本明彦  
島根大 小室裕明
- P-12. 日本列島重力図  
中部大 ○志知龍一、工藤 健  
愛媛大 山本明彦

## JR紀伊勝浦駅から会場(ホテル浦島)まで



### 会場へ

JR 紀伊勝浦駅から徒歩で 5-10 分にて ホテル専用棧橋 そこでボートに乗り換え数分。  
宿の予約や紀伊勝浦までの交通機関、紀伊勝浦の観光案内などは  
Web サイト <http://www.seis.nagoya-u.ac.jp/kimata/gsj2007.html> を参照下さい。  
ネット環境は用意できませんので、各自で PHS などをご用意下さい。

### 直行貸し切りバスの運転

JR 名古屋駅から 津波防災の町「錦」経由で貸し切りバス(4000 円)を用意しました。ご利用の方は事前に木股(kimata@seis.nagoya-u.ac.jp)まで予約下さい。定員で締め切り。6 日 11 時名古屋駅新幹線口発 錦津波タワー見学 紀伊勝浦着 17 時